

2024年1月22日

株式会社三菱UFJ銀行

## MUFGバンク（中国）による「パンダ債」の引受主幹事資格の取得について

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一、以下 当行）の全額出資子会社である MUFG バンク（中国）は、今般、中華人民共和国（以下 中国）の中国銀行間債券市場（以下 同市場）における自主規制機関である中国銀行間市場交易商協会（以下 NAFMII）より、同市場において中国域外の事業会社が中国本土で発行する人民元建の債券（以下 パンダ債）の引受主幹事資格（以下 同資格）を取得いたしました。

同市場と証券取引所債券発行市場で構成される中国の債券市場は、アメリカ合衆国の債券市場に次ぐ世界第2位の市場規模を擁しており、急成長を遂げています。MUFG バンク（中国）は、2019年に事業債の引受平幹事資格<sup>[1]</sup>を取得していましたが、同資格の取得により、中国で事業を展開するお客さまの資金調達をより柔軟に支援することができ、また、投資家の運用をより一層多様化することが可能になります。

MUFG バンク（中国）は、2010年5月に中国オンショア市場において外国銀行として初の人民元債を発行し、2014年5月には香港において外国銀行として初となるオフショア人民元債（点心債）も発行しました。また当行でも、2015年6月に本邦市場初となるオフショア人民元債（フジヤマ債）を発行し、2018年1月には本邦企業初となるパンダ債を発行するなど、人民元建債券市場の活性化に取り組んでまいりました。

当行および MUFG バンク（中国）は、同資格の取得により、中国で事業を展開するお客さまに対し、さらに多様なサービスの提供を目指すとともに、引続き中国の債券市場の発展に貢献してまいります。

[1] 平幹事とは、内外一般事業会社による中国銀行間債券市場における起債時の引受団メンバーを指しております。

以 上